

## 昭和56年度 研究経過

### 昭和56年

6月20日

第1回幹事・監事会（都市センター）

本年度の研究班の研究班構成および研究計画につき検討し、別表に示した通りの研究班構成および研究費の配分が決定された。その後来日されたKlaus教授をまじえて、母子相互作用研究の世界の現状、わが国の研究の現況などを討論した。

Klaus教授は、本研究が日本で厚生省により正式に取り上げられ研究が進んでいることを評価され、この領域に携わっている世界中の研究者と交流することが検討された。

6月20日

第1回研究会議総会（都市センター講堂）

本年度の研究について討論した。同時に、来日されたM. H. Klaus博士（ケース・ウェスタン・リザーブ大学小児科教授）による特別講演「母子相互作用」、小林登班長（東大小児科）による「母子相互作用の意義、研究会議の理念」の講演、および小嶋謙四郎班員、三宅和夫班員による講演（プログラム参照）があった。

出席者は114名であった。

12月22日

研究費交付、直ちに分担研究者に配分す。

### 昭和57年

1月29・30日

第2回研究会議総会（都市センター講堂）

本年度の研究成果が各班員より報告された（プログラム参照）。演題は45題、出席者は延211名におよび、評価委員からも本研究の意義は大きく、班活動も適切で効果をあげているとの評価を受けた。

1月29日

第2回幹事・監事会（都市センター）

昭和56年度の研究経過および研究成果につき討論され、昭和57年度の研究計画についても検討された。

4月

昭和56年度研究報告書を厚生省児童家庭局母子衛生課に提出。

# 第1回班会議講演プログラム

昭和56年6月20日

於 都市センターホール本館講堂

1 母子相互作用の意義，研究班運営の理念

班長 小林 登 (東京大学小児科)

2 乳児の母親へのむすびつき

小嶋 謙四郎 (早稲田大学文学部)

3 発達初期における母子相互作用と後の行動発達

三宅 和夫 (北大教育学部)

特別講演「母子相互作用」

M. H. Klaus (ケース・ウェスタン・リザーブ大学)  
小児科教授

## 第2回班会議総会プログラム

昭和57年1月29・30日  
都市センターホール本館講堂

1. 産科的側面よりみた母子相互作用の研究 — 電子スキャン超音波断層法による胎動の分析 —  
○上妻志郎, 水野正彦 (東大産婦人科)
2. コンピュータ画像処理による母子相互作用の研究  
○石井威望 (東大産業機械工学科)
3. 新生児・乳児の行動ならびに気質的特徴に関する研究  
○庄司順一, 前川喜平 (慈恵医大小児科)
4. 小児の行動異常と乳児栄養方法との関連に関する研究(2)  
○猪又丈二, 木村三生夫 (東海大小児科)
5. 最初期よりの母子相互作用・児の気質が愛着形成・行動発達に及ぼす影響  
○三宅和夫 (北大教育学部)
6. 母子相互作用に関する **prospective studies**.  
○平山宗宏 (東大母子保健)
7. 青年の親準備性に関する研究  
○井上義朗, 岩田崇 (慶大小児科)
8. ① 人見知り・あと追い行動に及ぼす家庭環境のあり方  
② 母性同一性獲得のプロセスに関する研究  
○坂井修一  
○小串武, 山下文雄 (久留米大小児科)
9. 母子相互作用に伴う母親の母性・女性性獲得の過程  
— 2.母子相互作用による母性意識の変容過程に関する研究 —  
○利島保 (広島大心理学科)
10. 母子関係の臨床的・実験的研究  
1) 母子相互作用の実験的研究 その2  
2) 妊娠期の母子関係 — 文章完成法による意識調査から —  
3) 乳児院退院児の家庭への適応  
○二木武 (都立母子保健院)
11. ① 入院による母子分離状況が児に及ぼす影響  
② 新生児の姿勢制御に関する基礎的研究  
— 仰臥位と腹臥位における重心測定と身体接着部位の解析 —  
○今泉岳雄, ○白井永男  
雨森良彦 (日赤医療センター第2産科)

12. 妊婦水泳・赤ちゃん水泳の母児相互作用  
○室 岡 一 (日本医大産婦人科)
13. 育児についての意識調査  
○島 山 富 而 (岩手医大小児科)
14. 鹿児島県一難島の親子関係  
○寺 脇 保 (鹿児島大小児科)
15. 母子相互作用の発達心理学的研究  
① プレアタッチメント期の母子相互作用  
② アタッチメント形成確立期の母子相互作用  
③ 保育園児と家庭児のアタッチメントの発達について  
④ る才児の分離不安に関する研究  
⑤ 乳幼児保健指導と母子相互作用仮説  
○大 藪 泰, ○百 石 盛 之  
○繁 田 進, ○依 田 明  
○小 嶋 謙四郎 (早稲田大)
16. 保育における相互作用の意義Ⅱ  
○舟 木 哲 朗 (島根大小児科)
17. 母子相互作用に関する家庭婦人及び職業婦人の健康状態と婦人科的データの比較研究  
○植 田 理 彦 (日本健康開発財団)
18. 都市幼児の健康・安全行動の形成における母子相互作用に関する研究  
○園 田 雅 代, 齊 藤 歎 能 (横浜国大教育)
19. 母子相互作用の社会小児科学的検討・委託育児についての社会一般の評価  
○加 藤 翠 (日本女子大)
20. 子育ての **critical age**. — 自閉症児の病態からみた **retrospective study** —  
○瀬 川 昌 也 (瀬川クリニック)
21. 母子同室制と母性意識  
○高 橋 悦二郎 (愛育総合母子保健センター)
22. ① 一般幼児およびてんかん患児における親子関係  
② 乳児検診における育児アンケートから  
○佐 伯 昭 代, 黒 川 徹 (九大小児科)
23. 未熟児における母子相互作用 — 母子対面場面にみられる母親の行動 —  
○竹 内 徹 (大阪母子保健総合医療センター)
24. 未熟児の日内リズムの発達 — 心拍・呼吸および活動量を指標として —  
○白 岩 義 夫, 小 川 次 郎 (聖隷浜松病院)

25. ① 犬にみられる母子相互作用  
② 双胎・低出生体重児の新生児期発達におけるおしゃぶり刺激と触覚刺激, NICUにおける  
スナグリー  
○森 永 良 子  
○高 橋 滋, 馬 場 一 雄 (日大小児科)

特別演題

ニホンザルの母子関係 — 比較の視点から —

糸魚川 直 祐 (大阪大人間科学部)

26. チック症の臨床生理学的検討  
○日 浦 恭 一, 宮 尾 益 英 (徳島大小児科)
27. 小児心身症の家族的背景  
○小 島 秀 夫, 吉 田 政 己  
鈴 木 栄 (名古屋大小児科)
28. 愛情遮断性小人症の内分泌学的病態に関する研究 — 成長ホルモン分泌能の検討 —  
○諏 訪 瑛 三 (神奈川こども医療センター)
29. Down 症乳幼児の HOME による家庭環境調査  
○池 田 由 紀 江, 長 畑 正 道 (筑波大心身障害学系)
30. 児の入院に対する母親の心理的反応の推移  
○中 村 孝 (静岡県立こども病院)
31. 未熟児センター内保育に家族が早期に関与することの親子・家族関係に及ぼす影響  
○山 本 勇 志 (福井県立病院)
32. 未熟児・超低体重出生児の聴性脳幹反応と聴性行動反応  
○加 我 君 孝, 鈴 木 淳 一 (帝京大耳鼻科)
33. 乳汁の「におい」に関する研究  
○山 内 逸 郎 (国立岡山病院)
34. 親の発達期待と子どものパーソナリティ  
○詫 摩 武 俊 (都立大心理)